

**問題** ('12 九州工業大・改)

【難易度】 … 標準

O を原点とする座標平面上に点  $P_0(1, 1)$ ,  $Q_0(1, 0)$  がある。ある  $p$  ( $0 < p < 1$ ) に対して、点  $P_1(p, p)$ ,  $Q_1(p, 0)$  を定め、さらに、自然数  $n$  について点  $P_{n+1}$ ,  $Q_{n+1}$  を次のように定める。

- ・点  $Q_n$  を通り直線  $Q_0P_1$  と平行な直線と、直線  $OP_0$  の交点を  $P_{n+1}$  とする。
- ・点  $P_{n+1}$  を通り  $y$  軸と平行な直線と、 $x$  軸の交点を  $Q_{n+1}$  とする。

また、 $\triangle Q_{n-1}P_nQ_n$  の面積を  $S_n$  とするとき、以下の問いに答えよ。

- (1)  $S_1$  を  $p$  を用いて表せ。
- (2) 点  $Q_{n-1}$  の  $x$  座標を  $q$  とするとき、点  $Q_n$  の  $x$  座標を  $p, q$  を用いて表せ。
- (3)  $S_n$  を  $p, n$  を用いて表せ。
- (4)  $n$  を定数として、 $p$  を  $0 < p < 1$  の範囲で動かすとき、 $S_n$  を最大にする  $p$  とそのときの  $S_n$  をそれぞれ  $n$  を用いて表せ。
- (5) (4) で求めた  $S_n$  に対して、 $\lim_{n \rightarrow \infty} nS_n$  を求めよ。

【テーマ】：無限等比級数と極限

**方針**

(1)~(3) は、面積  $S_n$  を求める誘導です。漸化式を立式して解けば求まります。(4) は、最大値を求めたいので微分しましょう。(5) は、関数の極限に関する公式が必要になります。

**解答**

- (1)  $S_1$  は  $\triangle Q_0P_1Q_1$  の面積である。 $P_1Q_1 = p$ ,  $Q_1Q_0 = 1 - p$  であるから、

$$S_1 = \frac{1}{2} p(1 - p) \dots \dots (\text{答})$$

- (2) 直線  $P_1Q_0$  の傾きは、 $\frac{p}{p-1}$  であるから、直線  $Q_{n-1}P_n$  の方程式は、

$$y = \frac{p}{p-1}(x - q)$$

である。これと  $y = x$  の交点が  $P_n$  であるから、

$$x = \frac{p}{p-1}(x - q)$$

$$x = pq$$

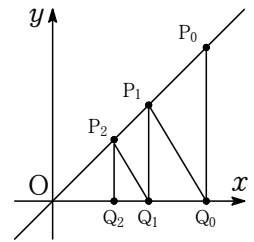
ゆえに、 $Q_n$  の  $x$  座標は、 $pq \dots \dots (\text{答})$

- (3)  $Q_n$  の  $x$  座標を  $q_n$  とする。このとき、(2) より、 $q_{n+1} = pq_n$  となるので、 $q_0 = 1$  より、

$$q_n = p^n$$

である。ここで、

$$\begin{aligned} S_n &= \frac{1}{2} P_n Q_n \times Q_n Q_{n-1} \\ &= \frac{1}{2} p^n (p^{n-1} - p^n) \\ &= \frac{1}{2} (p^{2n-1} - p^{2n}) \dots \dots (\text{答}) \end{aligned}$$



(4) (3) より,  $S_n$  を  $p$  で微分すると,

$$\begin{aligned}\frac{dS_n}{dp} &= \frac{1}{2} \{(2n-1)p^{2n-2} - 2np^{2n-1}\} \\ &= \frac{1}{2} p^{2n-2} (2n-1-2np)\end{aligned}$$

$0 < p < 1$  より,  $\frac{dS_n}{dp} = 0$  となるのは,  $p = \frac{2n-1}{2n}$  のときで, このとき, 増減表は次のようになる.

$p$	0	...	$\frac{2n-1}{2n}$	...	1
$\frac{dS_n}{dp}$		+	0	-	
$S_n$		↗		↘	

よって,  $S_n$  が最大となる  $p$  は,

$$p = \frac{2n-1}{2n} \dots\dots(\text{答})$$

であり, このとき,

$$\begin{aligned}S_n &= \frac{1}{2} \left(\frac{2n-1}{2n}\right)^{2n-1} - \frac{1}{2} \left(\frac{2n-1}{2n}\right)^{2n} \\ &= \frac{1}{2} \left(\frac{2n-1}{2n}\right)^{2n-1} \left(1 - \frac{2n-1}{2n}\right) \\ &= \frac{1}{4n} \left(\frac{2n-1}{2n}\right)^{2n-1} \dots\dots(\text{答})\end{aligned}$$

である.

(5) (4) より, 求める極限值は,

$$\begin{aligned}\lim_{n \rightarrow \infty} nS_n &= \lim_{n \rightarrow \infty} \frac{1}{4} \left(\frac{2n-1}{2n}\right)^{2n-1} \\ &= \lim_{n \rightarrow \infty} \frac{1}{4} \left(1 - \frac{1}{2n}\right)^{2n} \cdot \frac{2n}{2n-1} \\ &= \lim_{n \rightarrow \infty} \frac{1}{4} \left[ \left\{1 + \frac{1}{(-2n)}\right\}^{-2n} \right]^{-1} \cdot \frac{2}{2 - \frac{1}{n}} \\ &= \frac{1}{4} e^{-1} \cdot 1 = \frac{1}{4e} \dots\dots(\text{答})\end{aligned}$$

◆ ◆ ◆

**解説**

丁寧な誘導があるので, 一つ一つの設問を確実に解けるようにしましょう. (5) では, 自然対数の底に冠する極限を利用しなければいけないので, 忘れていた人は思い出しておきましょう.

【自然対数の底に関する極限】

$$\begin{array}{ll} \text{(i)} \quad \lim_{x \rightarrow \pm\infty} \left(1 + \frac{1}{x}\right)^x = e & \text{(ii)} \quad \lim_{x \rightarrow 0} (1+x)^{\frac{1}{x}} = e \\ \text{(iii)} \quad \lim_{x \rightarrow 0} \frac{\log(1+x)}{x} = 1 & \text{(iv)} \quad \lim_{x \rightarrow 0} \frac{e^x - 1}{x} = 1 \end{array}$$

これらの公式は, 置き換えを行うことで同値であることが証明できる.